



オパール
COMICS

系・教・調

男子

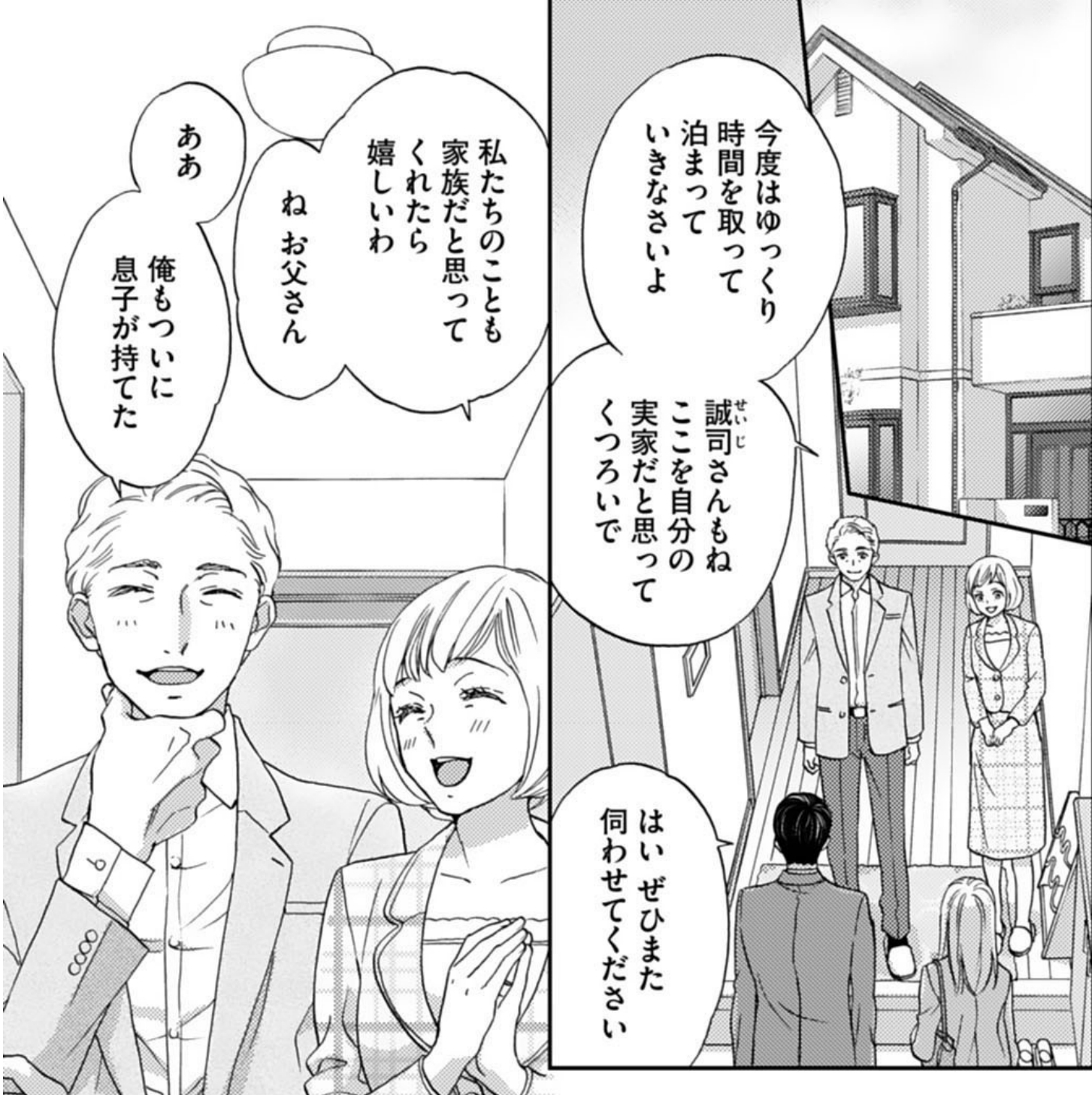
オオカミ様と
子猫ちゃん

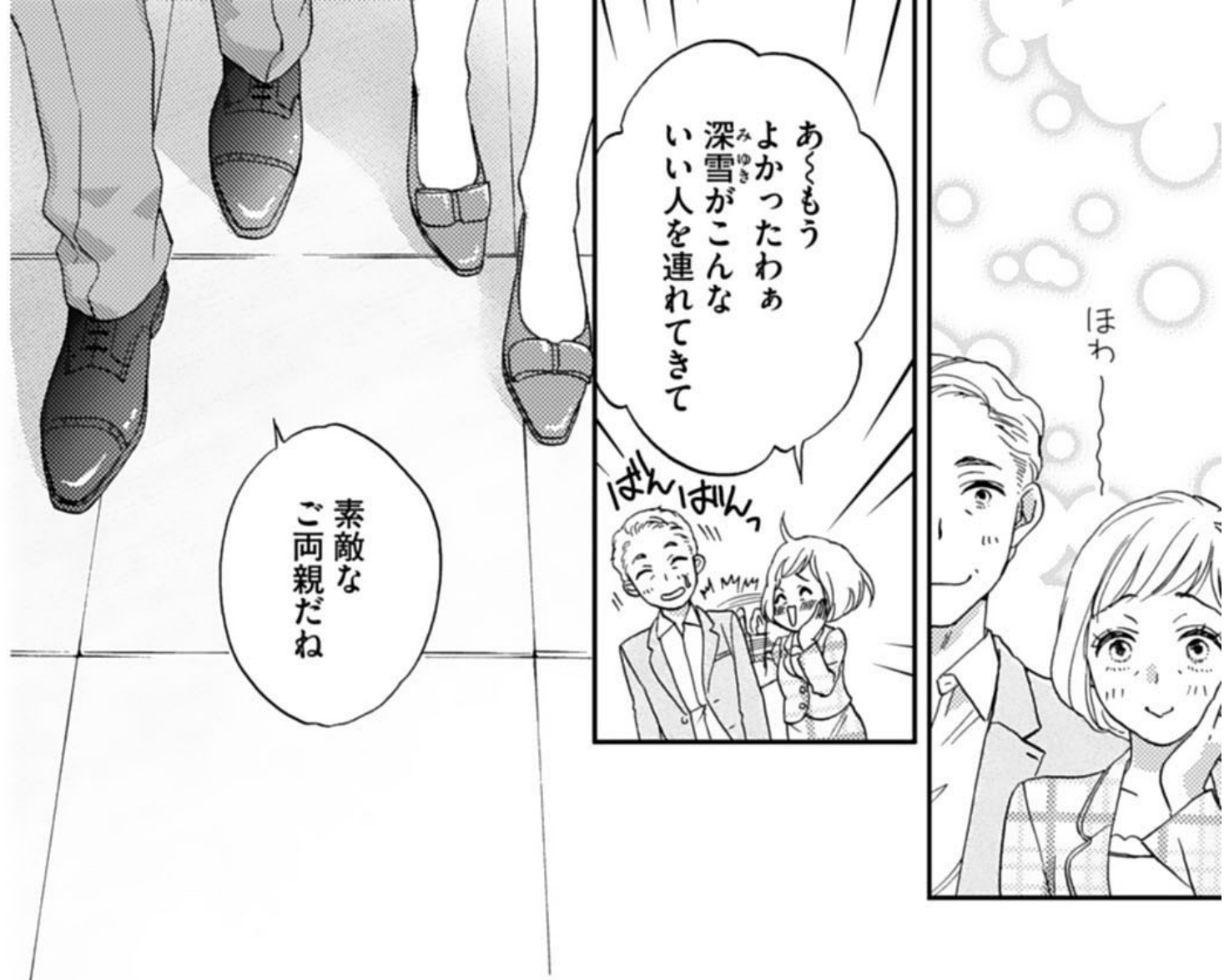
あづみ悠羽

原作:榎原まき
イラスト原案:つきのおまめ

10

オパール
COMICS





深雪はいつ
入籍したい？

俺としては
今すぐでもいいけど
これから毎年の
記念日になる
わけだからね

そうですねえ…

祝日はどうですか？
一日一緒に過ごせます

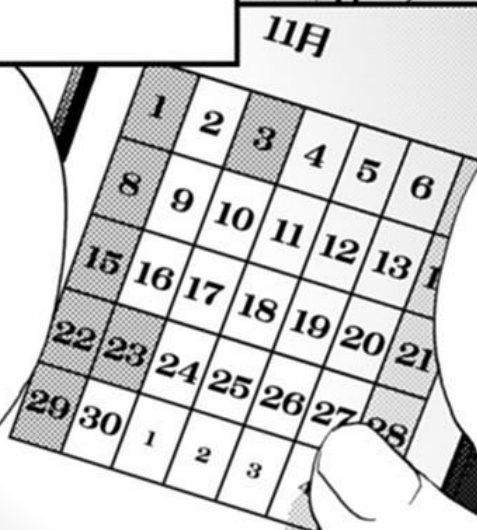
いいね

9月の祝日は…
そっか毎年
変動するのか

固定の日に
するなら—

—少し先ですけど
いい夫婦の日は？

次の日は必ず
勤労感謝の日で
休みになります



ああ11月22日で
いい夫婦なんだね

今年はちょうど
三連休だから
式場もそこで
探してみようか

小規模な式なら
今からでも予約
取れるかもしれない

そうしましょう！

うん

引っ越しだけ
先にしようか



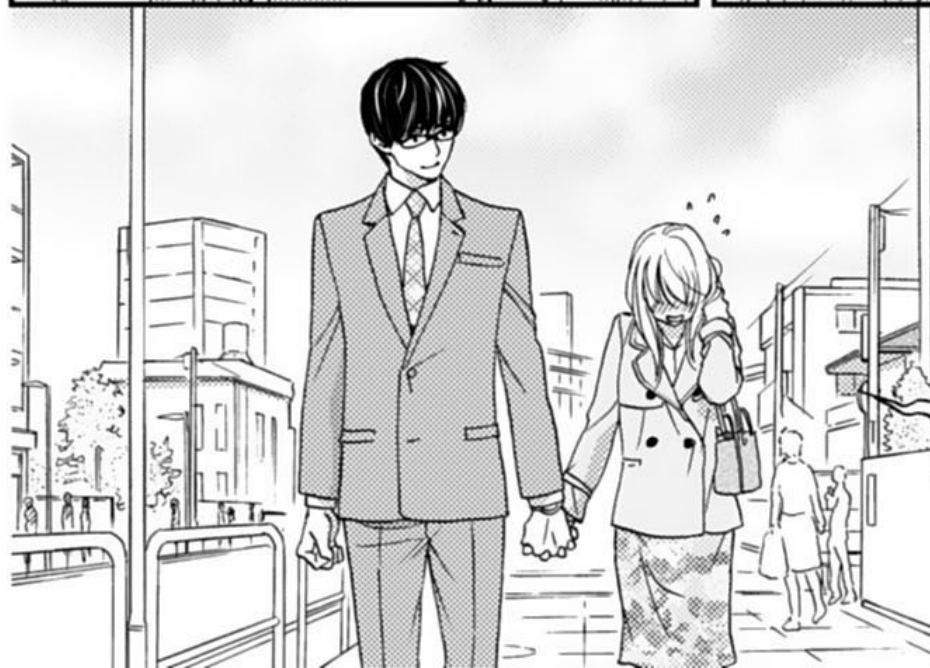
俺
深雪との子供が
早く欲しい



実は物件の目星は
ついているんだ
会社もスーパーも近いし
家族が増えても
大丈夫な間取りだよ



だからまた
中に出してあげる



わ
わたしも…
誠司さんとの
赤ちゃん…
欲しいです…

近い未来

この手を子供と繋いで
歩くのかもしれない

子供はできるだけ
多い方がいいな

家族は
たくさん欲しい

にぎやかなのも
きつと楽しい
だろうなあ

そうですね
毎日絶対
楽しいですよ

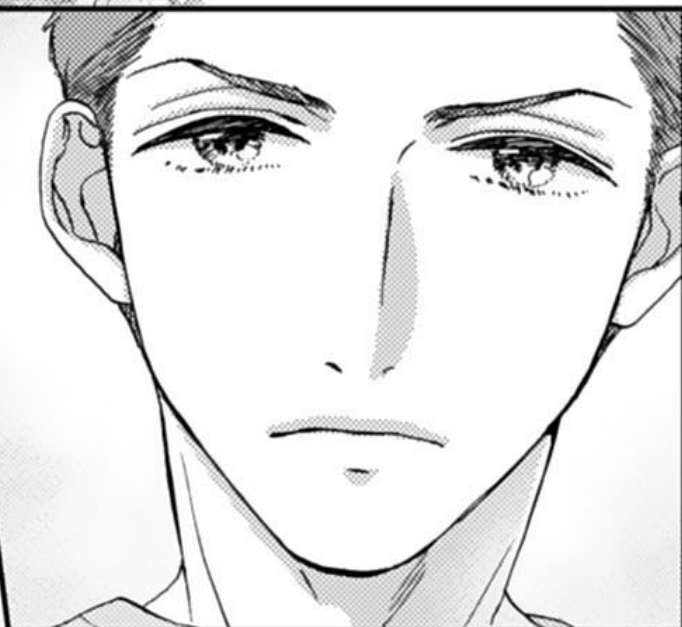
孤独な彼が
幸せに楽しく
笑い合える家庭を
築きたい…

あっ
電車行っちゃった

5分後のに乗らないと
もう新幹線に
間に合わない—

深雪！





いえお気に
なさらずに

ゆっくりご挨拶させて
いただきたいところ
なのですが…

申し訳ない
電車の時間が…

ああ！
悪いな引き留めて

ううん
またね！
おばさんに
よろしく！

ごめんね慎くん

次のに乗らないと
新幹線に
間に合わないの！

深雪
ちよつと急ごうか

はい

— 深雪 !!





うーん
お母さん同士が
仲良しなんですよね



慎くんは四つ年上だし
遊んだのも本当に
小学校低学年までで…

ふうん



あとはわたし
中学受験して
私立の中学校に
行かせて
もらったんですけど

その受験の時に
勉強を見てもらった
くらいですね

今は一年に一回
顔を合わせる
程度…かな？



そうなんだ



そうだ

新居候補の
間取りを見て
くれないか？

このサイトに
出ているから







んー？



お疲れ様
深雪

お疲れ様です
誠司さん

やっぱり日帰りは
少し疲れますね



姿見に…

じゃあ

今日のセックスは
やめとく？



深雪は
疲れたのかい？





こら
駄目じゃないか
深雪の身体は
俺のものなんだから
…ね? どうしたら
いいかわかるね?



深雪は本当に
いい子だね

恥ずかしい…



俺が脱がせて
あげる
シャワーもね
俺が洗って
あげる



姿見で…全部
見えちゃう…



はんっ…んっ

やっ



んん…んっ

はあん…

やっ



くちゅ

くちゅ

んっ

わたし…

いつもこんな
いやらしい顔を
してるの…？

ん…んん…





でも…だって…

見られちゃう

あそこを…

する…

ひ…

くすっ

おやおやこんなに
びしょ濡れに
なってたのか？

大人しい顔をして
深雪は本当に
いやらしい身体だね

ご…ごめん
なさい…

あん

ぬるっ

ビュッ

謝ることじゃないよ

深雪の身体を
俺が作りかえただけ

俺専用だね—

—そうだろう？

深雪は
俺だけのもの

一生ね

俺の可愛い
奥さん

奥さん…

はい…



今日はどんな風に抱いて
もらえるんだろう…？

…今日

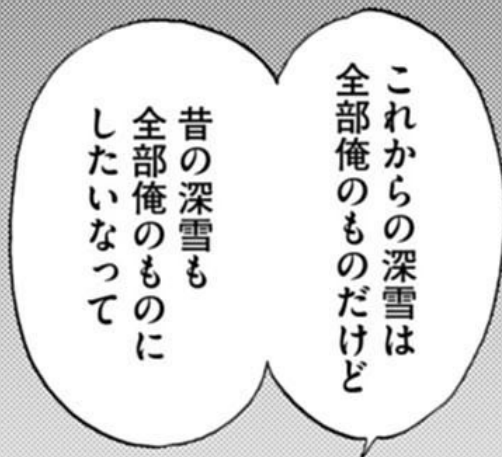
深雪の実家に
行って…
思ったんだ



深雪のこと
全部知りたい

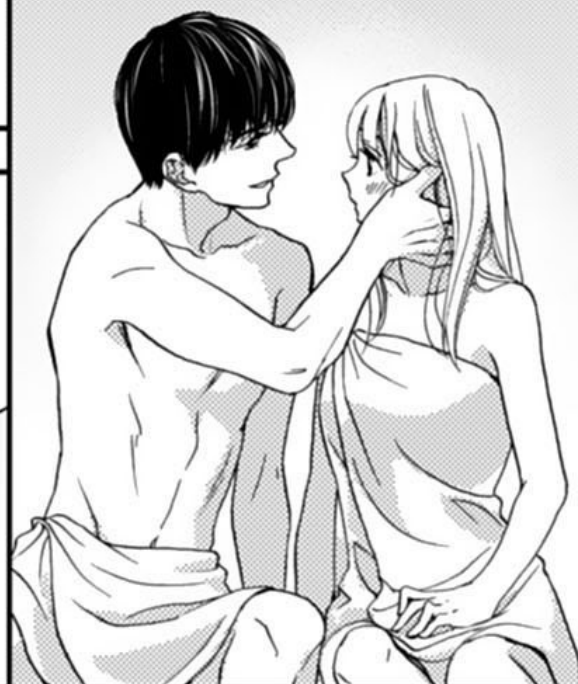
独占したい

…重いかな？



これからの深雪は
全部俺のものだけど

昔の深雪も
全部俺のものに
したいなって



ううん
嬉しい



そういえば
わたしの過去って
語った事ってほとんど
なかったかも



平凡すぎて
特別な事は
何もないけれど…

じゃあ
聞いていい？

ギシ



深雪は中学から
女子校に
行ってたんだね

どうして？

そういう話で
いいんだ？



それで後藤くんにもらっていたの？



そっか

嫌な思いをしたんだね
可哀想に

ほで



わたし小学生の頃から
胸がおつきくなっちゃって…

その…男子の目線が胸に
…プール授業とか特に…

自意識過剰なんですけど
…それで共学の中学に
行きたくなくて…



はい

わたしの塾が
休みの時に
わからないところを

中学生の頃の慎くんは
勉強も運動も得意で
優しく頼れる
お兄ちゃんだったっけ

それにわたしの身体を
じろじろ見たり
しなかったから
安心できた

わたしが男性嫌いに
ならずに済んだのは
慎くんのお陰かも
しれない



なるほどね



今日も
手錠にするよ

この間縛りすぎて
手首に跡が残って
しまったからね

カ
シ
ッ



残ってもいいのに…

駄目

俺は
大切な深雪を
傷つけたくない



深雪に痛い思いなんか
させたくないんだ



子供の頃は
この身体があまり
好きじゃなかったけど

今は
この身体ごと
彼に愛されてる

…あ

だから
嬉しい…



んっ

ぬちゅ

くにくに





To be continued...



調教系男子 オオカミ様と子猫ちゃん⑩

著者 あづみ悠羽

©2019 Yuu Adumi

発行 プランタン出版

発売 フランス書院

※本作品の内容はすべてフィクションです。

※本書の無断複写・複製・転載・配信は、著作権法上での
例外を除き禁じられています。